

## 榛名地域審議会懇談会 2007/2/16

## 新市基本計画実施計画事業の推進状況及び平成19年度の取り組みに係る質疑一覧

事業名	No.	質 疑	回 答
榛名地域福祉会館建設事業	1	榛名地域福祉会館の建設場所は、どこかに決まっているのか。	平成19年度より、福祉会館建設懇話会（仮称）を設置して建設場所及び建設計画等を検討していきたい。
	2	榛名地域福祉会館は、どれくらいの規模と内容を予定しているのか。また、障害者等の意見を取り入れた施設にしてもらいたい。	福祉諸団体及び地域関連団体に参加してもらって、懇話会を設置して、広く市民の意見を集約して、榛名地域に適した機能や設備を基本構想に盛り込んで計画していく。
	3	榛名地域福祉会館と下里見地域コミュニティセンターが同時期に建設されるようだが、両施設が連携するような運営・利用方法を考えているか。	榛名地域福祉会館は、これから基本構想を計画していきながら、運営・利用方法等で連携できるものはしていきたい。 下里見地域コミュニティセンターは、大字会館的なものなので地域住民が望む利用し易い施設にしたい。そのような中で、相互に利用・連携できるものにしたい。
榛名地域観光振興事業	4	榛名地域観光振興計画の調査・研究で高崎経済大学観光学科の学生が調査しているが、その進捗状況はどうなっているか。	観光振興計画は高崎経済大学に委託しているが、今年度はワーキンググループ等で調査・研究を実施。平成19年度にて、榛名地域観光振興計画をまとめる予定。
	5	合併後に各種の要望を提出したが、観光振興事業の中に新規事業や要望等が見られない。どうしたら反映されるのか。また、高崎経済大学生が、観光振興計画の関係で調査にきているが、地元住民の望む将来像等についての意見の聴取がされていない。	新市基本計画実施計画によるもので、合併時の要望等は平成19年度予算に引き継がれている。また、高崎経済大学生の調査については、広く意見を求めるように伝える。
バイオスタウン推進事業	6	地球温暖化への対応でバイオマス事業に着目したのはよいことで、梅・梨の剪定枝、林業の間伐材、建築廃材などを使用していくのがよい。ただ、一ヶ所に集めるのは、大変難しいので、身近で利用できる薪ストーブ・ステンレスの給湯器等の取得に補助すると、もっとバイオマスが普及する。将来的に、実行し易いものを考えてもらいたい。	バイオスタウン推進事業は、調査等を箕郷地域を中心に行っているが、梅・梨の剪定枝等を使用したときの搬送・燃焼・通年の供給等が大きな問題になっている。林業事務所と梅・梨の剪定枝、間伐材、枝打ちしたものを利用した発電的な施設はどうかと検討している。今後、いろいろなことを総合的に調査・研究しながら進めていきたい。

事業名	No.	質 疑	回 答
バイオスタウン推進事業	7	山では、竹が生い茂ってしまって大変な状態だが、竹の有効利用を考えてもらいたい。	山の整備という観点からも、バイオマス推進事業に取り入れていきたい。
下里見地域コミュニティセンター整備事業	8	下里見地域コミュニティセンターの建設計画は、どうなっているのか。	住民にとって使い易い場所はどこなのか。どのようなものを必要としているのか。建設場所の選定等の計画については、平成19年度より着手したい。
	9	下里見地域コミュニティセンターの構想の中に、育児支援・児童館的なものを取り入れた建設計画にしてもらいたい。	地域の各種団体・階層を網羅して組織する下里見地域コミュニティセンター建設検討委員会（仮称）に、当該団体の方々も含まれると思いますし、当方からも意見（要望）を繋いでいく。
	10	下里見地域コミュニティセンター建設検討委員会（仮称）の構成はどのように考えているのか。	地域の区長を通じて、各種団体・階層を網羅して下里見地域コミュニティセンター建設検討委員会（仮称）を設置していきたい。
榛名地域都市型農業振興事業	11	榛名地域都市型農業振興事業で調査委託料100万円とあるが、どんな調査委託料なのか。	フルーツライン沿線事業の沿線整備計画の調査研究委託料として考えている。
	12	都市型農業振興事業で、平成20年度の計画額4500万円とあるが、平成19年度にいくらか調査費等計上しないと、事業ができないのではないか。	里見フルーツ団地内観光拠点施設整備支援事業は、里見フルーツ団地で果樹を使った加工品を作る施設を建設したいとしているもので、国庫補助事業としての計画額であり、事業計画は実施主体であるフルーツ団地組合員で作成してもらうことになっている。また、組合員から当該事業計画を1年延期したい意向もあるようだ。
	13	普通の農業と都市型農業とは、どのように違うのか。	都市型農業とは、都市住民と交流しながら、そして参加しながら農作業を行っていくこと。

その他の質疑

No.	質 疑	回 答
1	今後、要望はどこに、どのような形で提出すればいいのか。	榛名支所に提出された要望については、本庁につなが適切に対応する。
2	合併後、各種団体から出された要望はどのように処理されたのか。	高崎市第5次総合計画に反映されるために、各種団体から提言をいただき、現在各課で取りまとめて調査している。また、提出された要望の中で、単年度で処理できるものは予算内で対応している。
3	地域審議会とは、新市基本計画実施計画の進捗状況の確認等で、新たな計画の提案はないのか。	合併後の平成19～21年度に、新市基本計画実施計画の進捗状況について確認いただき、変更や意見を伺う。また、総合計画に係る意見も述べることができる。